

2021年6月28日

報道関係者各位
プレスリリース

オリザ油化株式会社

米国代理店 Maypro Industries 社と北米の企業向けにウェビナーを開催

オリザ油化株式会社(本社:愛知県一宮市)は、2021年6月24日(米国現地時間6月23日)に該社米国代理店の Maypro Industries Inc.(本社:米国 NYC)と共同で、主に北米のユーザー向けに紫茶エキス(Alluvia[®]、PurpleForce[™])と桜の花エキス(Florabella[®])のウェビナーを開催したことを発表した。北米の大手企業を中心に50社以上から聴講があったことから、同素材の関心の高さが窺える。

紫茶エキスについては2013年に特有成分であるGHG(1,2-di-galloyl-4,6-hexahydroxy-diphenoyl-b-D-glucose)を規格化し生理活性の研究を行い、抗肥満効果及び、美容効果を有することを見出している。また、同社ではSDGsの活動の一環として、紫茶の売り上げの一部を、子どもの権利を推進し、貧困や差別のない社会を実現するために活動をする、国際NGOプラン・インターナショナルに寄付をする取り組みを開始している。米国ではAlluvia[®]という名称で商標登録をし、既に多くのダイエット系のサプリメントで採用実績がある。また、PurpleForce[™]については、2019年に米国スポーツニュートリションの第一人者であるDr.Lopez 監修のもと、米国臨床試験機関で臨床を実施をし、PurpleForce[™]を経口摂取することにより、運動パフォーマンスの向上、運動後の疲労回復効果の他、運動に対する意欲の向上が確認された。本臨床試験の結果については昨年9月、“Journal of Exercise and Nutrition”のスポーツニュートリションの専門誌に掲載されている。

一方、桜の花エキスについては2010年4月に世界に向けて上市し、高いAGEs産生抑制・AGEs分解促進作用が確認され、特にAGEsの産生抑制効果は、日本・米国・中国・マレーシアで特許を取得している。臨床試験においても、体内のAGEsの減少効果や、そばかす量の減少効果が確認され、抗糖化素材として、日本国内のみならず、東南アジア・欧州で、食品・化粧品問わず、数多くのお客様で採用を頂いている。米国では、Florabella[®]の登録商標で、プロモーションを実施しており、これも数多くの北米・南米のお客様に採用を頂いている。

同社ではコロナ禍ではあるが、近年ウェビナーを積極的に活用し、国内外のお客様へ向けての効率的な情報提供を行っており、日本国内のお客様用として、会員登録後に各製品の紹介動画が閲覧できるよう公開されている。今回のウェビナーの内容は、英語での配信となっており、今後、幅広い顧客層の開拓を世界レベルで推進していく予定である。